

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第27号 2017年12月5日

「ジョイコン」は、2013年1月に大倉山記念館で産声をあげ、来年1月で5周年を迎えます。

「3周年」時と同様「特別演奏会」を企画中ですが、今回は真冬を避けて、来年5月に開催することに致しました。

詳細は、このメールマガジンの「今後の予定（先取り情報）」コーナーやホームページ等で順次ご案内いたします。どうぞご期待下さい。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第27号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆第31回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆第32回コンサート
 - ◆第33回コンサート
- 【3】 チェロのレパートリー♪
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第31回コンサート■■

◇2018年1月21日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：伊藤悠貴（チェロ）、ロー・磨秀（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第2番 ト短調 作品5-2

◆フランク：チェロ・ソナタ イ長調

◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円

◇会場：大倉山記念館ホール

第31回ジョイフルコンサートは

『伊藤悠貴チェロ・リサイタル～日本を代表する若手チェリスト、ジョイコンに登場！』と題して、お届けします。

伊藤悠貴さんからメッセージが届いています

この度大倉山ジョイコンにて、素晴らしいピアニスト ロー・磨秀氏と予てより待ち望んでいた共演が実現することを心より嬉しく思います。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

次回のジョイフルコンサートは伊藤悠貴さんのチェロリサイタルです。

チラシをご覧になったかと思いますが、実力も見た目もまさしく”チェロの王子様”です。

○ベートーヴェン/チェロ・ソナタ第2番 ト短調 作品5-2

☆ベートーヴェン

ベートーヴェンは偉大な作曲家だと十分思っています。ベートーヴェンを好きな人も尊敬している人もたくさんいらっしゃると思います。ただ「同じ人類の中にかつてベートーヴェンがいたという一点をもって、人間が地球上に誕生したということは無意味ではないと思っている。」とここまで書かれていたのを読んでびっくりしました。レナード・バーンスタインは「ベートーヴェンの音はこれしかないという音が後に続くから完璧なのだ。」とまで言っているそうです。

それまでの音楽家は宮廷や貴族に仕え、依頼された音楽を作るのが主だったのに比べて、ベートーヴェンはそのような主従関係を嫌い、自分の内面から湧き上がる全人類のための音楽を作ろうとしたことが画期的と言えるそうです。メールマガジン第24号でベートーヴェンについて書いていますが、聴覚を失うという音楽家としては絶望的な状況に置かれ、そこで最終的に行き着いたテーマが「苦悩の中から喜びを」であり、このテーマで曲を作り続けたのです。そこまでベートーヴェンの音楽に思い入れできない私は、勉強不足としか言いようがなく情けないかぎりです。

更に調べると人としてはかなり変人というか人間らしいエピソードが残っています。作曲中は他のことは一切できなかったそうです。ピアノの上にはカビの生えたパンの乗ったお皿が置かれ、ピアノの下にはものすごい状態の簡易トイレが放置され、コックも召使も長続きすることなくすぐに逃げ出す人が多かったそうです。

モーツァルトは天才型で楽譜に書く時にはすでに頭の中ですべての楽譜が出来上がっていてそれを写すという人だったそうですが、ベートーヴェンは決してそのようなタイプではなく何度も何度も書いては直しを繰り返した人でした。

今回はチェロ・ソナタ 第2番を演奏して下さいます。
いろいろ想像しながらお聴き頂ければと思います。

☆チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 作品5-2

2楽章からなるソナタで第1楽章はとても大曲です。ウィーンからプロイセンに旅行中に書かれ、フリードリヒ・ヴィルヘルム2世に捧げられたものです。聴いてみるとピアノがとても難しそうです。表情豊かなチェロの音と澄んだピアノの音がとても印象的で素敵だなと思いました。第2楽章はとても軽快なピアノで始まります。主題のメロディーが展開していくのがとても面白いです。

チェロの柔らかく温かい音が寒い冬の日にはぴったりではないでしょうか？ (A.N)

◆大変申し訳ありませんが、12月1日に満席となってしまいました。
なお、「キャンセル待ち」は受付中です。

「キャンセル待ち」受付
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第32回コンサート■■

◇2018年3月18日（日曜日）
◇出演：押部朋子（フルート）、景山梨乃（ハープ）

★ジョイコン初の「フルート」と「ハープ」によるコンサートです。
押部さんはジョイコン初登場、景山さんは第25回（2017年1月15日）に
続き再登場です。
どうぞご期待ください。

◆予約受付開始日：2018年1月22日（月曜日）

■■第33回コンサート（5周年記念特別演奏会）■■

◇2018年5月20日（日曜日）

◇出演：大倉山カルテット

【3】チェロのレパートリー

『チェロ』の語源はコントラバスをあらわす「Violaone(ヴィオローネ)」(大きなヴィオラ)で、末尾に「小さな」をあらわす「cello」がついて「Violoncello(ヴィオロンチェロ)」、直訳すると「小さな大きなヴィオラ」となります。今でもこれが正式名称で楽譜などでも「Vc」と略されます。ちなみにここでのヴィオラは、現在ある楽器のヴィオラではなく、弦楽器全般を指しています。

現在ではソロ楽器として人気のあるチェロですが、20世紀以前はチェロ用に作られた曲はピアノやヴァイオリンに比べると圧倒的に少なく、今でもチェロ以外の楽器のために作られた曲をチェロ用に編曲して演奏しています。

1890年にパブロ・カザルスがバッハの「無伴奏チェロ組曲」を発見し、ヴァイオリンのテクニックに限りなくチェロを近づける奏法を編み出し、主に伴奏楽器であったチェロをソロ楽器として確立しました。

そして、旧ソヴィエト連邦出身のチェリスト、ロストロポーヴィチ（1927年～2007年）の出現によりチェロの曲は急速に拡大していきます。

カヴァレフスキー、ハチャトゥリアン、ルトスワフスキ、ジョリヴェ、デュティユー、シュニトケ、バーンスタイン、外山雄三など20世紀を代表する作曲家達が競ってロストロポーヴィチの為に作曲し、その数は170曲を超し、ロストロポーヴィチの存在がチェロの現代レパートリーを広げました。

ここにチェロの名曲といわれるものをご紹介します。

*ドヴォルザーク『チェロ協奏曲 Ⅰ短調』（「ドボコン」の愛称で親しまれています）

*ハイドン『チェロ協奏曲 第2番 Ⅱ長調』

*シューマン『チェロ協奏曲 Ⅰ短調』

この3曲は「3大チェロ協奏曲」と呼ばれています。

*サン＝サーンス『動物の謝肉祭』より“白鳥”

*J. S. バッハ『無伴奏チェロ組曲 第1番ト長調』

*カタロニア民謡『鳥の歌』

*ベートーヴェン『チェロ・ソナタ 第3番イ長調』

（ベートーヴェンのチェロ・ソナタは5曲あり「チェロの新約聖書」といわれ、チェロ奏者の大切なレパートリーです）

*チャイコフスキー『ロココの主題による変奏曲』

（ドヴォルザークのチェロ協奏曲に次いで演奏される機会が多く、チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門の課題曲としても用いられます）

*コダーイ『無伴奏チェロ・ソナタ 作品8』

*フォーレ『夢のあとに』（カザルスがチェロ独奏に編曲）『エレジー』（チェロと管弦楽、またはチェロとピアノ用）

*シューベルト『アルペジオーネ・ソナタ Ⅰ短調』

（6弦の弦楽器アルペジオーネのために作曲された作品ですが、この楽器が廃れてしまったのでチェロ用になりました）

*ポッパー『ハンガリー狂詩曲』

*ショパン『チェロ・ソナタ ト短調』『序奏と華麗なるポロネーズ Ⅷ長調』

*ブルッフ『コル・ニドライ 作品47』

*カサド『愛の言葉』（カサドのチェロの師であるカザルスに捧げた曲）

是非、皆様に聴いていただきたい曲たちです。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（11月19日公演）：『紅葉の大倉山で聴く 藤原晶世リサイタル』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」58%、「良かった」20%、残りは「無回答」の22%で、とても好評でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『本日の演奏者、伴奏者ともに素晴らしい方々で大変好感が持てました。素晴らしい経歴の方々を生で近くで聴けて幸せでした』『バルトーク、リズムにのって壮快でした！』『美しい音色に加えて、こんなに力強いヴァイオリンの音を聴いたことがありませんでした』『すごく気持ちのこもった演奏でとてもすてきでした。また聴くことができたらと思いました』『ドボルジャーク最高でした。又、来日された時は聴きに來ます』など、好意的メッセージが数多く寄せられました。

また、ジョイコンのコンサートを“楽しみにしている”とか“ずっと続くよう願っています”などと期待するコメントもありました。

なお、“イスの前後が狭いです”との苦情も頂きました。専用の音楽ホールのように椅子が固定式でない為、窮屈になっていたものと思います。注意したいと思います。アンケート回収数：55（回収率75%）

【編集後記】

前回のジョイフルコンサートで譜めくりをしました。考えてみると一番演奏者に近いところで演奏を聴いたこととなります。ブラームスを最初に持ってくるプログラムはとても挑戦だそうです。でもピアノがしっとりと始まって良い曲です。時々楽譜を見失って内心ドキドキ、時々いいわ～ってうっとりして何とか無事に終わりました。演奏者のお2人がとても気さくで仲が良いことがよくわかって、とても幸せな時間でした。

後から「グリーグのヴァイオリンソナタ初めて聴いたけど良い曲ね。」という声がちらほら聞こえてきました。前回のメールマガジンでグリーグ取り上げたのです。それも内心ガッツポーズしてしまうほど嬉しいことでした。

皆様これからもどうぞジョイコンもメールマガジンもよろしく願いいたします。
(A.N)

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
